

# 財政健全化計画等執行状況について

団体名	高知県
会計名	高知県病院事業会計

平成19年度に実施した公的資金補償金免除繰上償還にかかる財政健全化計画の執行状況については、次のとおりです。

## 1 職員数

### (i) 推移表

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	平成21年度 計画目標値
計画目標値(A)	682	677	671	670	668	671
実績(見込)値(B)	681	664	662	634	656	
乖離値(C) (A-B)	1.0	13.0	9.0	36.0	12.0	15.0
乖離率(D) (C/A)	0.1%	1.9%	1.3%	5.4%	1.8%	2.2%

## 2 改善額

### (i) 推移表

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	-	10	25	25	25	85	28
実績(見込)値(B)	20	25	30	50	45	170	
乖離値(C) (B-A)	20.0	15.0	5.0	25.0	20.0	85.0	142.0
乖離率(D) (C/A)	#DIV/0!	150.0%	20.0%	100.0%	80.0%	100.0%	507.1%

## 3 公営企業債現在高

### (i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	15,749	16,487	16,213	15,658	15,625	15,810
実績(見込)値(B)	15,689	16,489	15,976	15,439	16,390	
乖離値(C) (A-B)	60	▲ 2	237	219	▲ 765	▲ 580
乖離率(D) (C/A)	0.4%	0.0%	1.5%	1.4%	-4.9%	-3.7%

## 4 累積欠損金比率

### (i) 推移表

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	76.4%	75.4%	76.1%	79.6%	84.2%	82.7%
実績(見込)値(B)	84.4%	88.1%	93.3%	96.8%	105.9%	
乖離値(C) (A-B)	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.2
乖離率(D) (C/A)	-10.5%	-16.8%	-22.6%	-21.6%	-25.8%	-28.1%

### (ii) 要因分析

(単位:百万円、%)

	計画最終年度(平成23年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	
分母(営業収益等)	10,954	10,136	10,912
分子(累積欠損金)	9,223	10,729	9,125
累積欠損金比率	84.2	105.9	83.6

分母悪化要因

(単位:百万円)

要因	影響額(百万円)	備考	やむを得ない事情
医師不足による料金収入の減	776	当初目標では、安芸病院の医師数がH21年度に28名となり以後最終年度まで28名の計画であったが、H23年度4月1日現在で18名と、当初計画の医師数を確保することが困難な状況である。	21
合計	776		

分子悪化要因

(単位:百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない事情
	計画目標値(A)	実績見込値(B)			
平成19年度	14	▲ 232	246	医師不足による医業収益の減	21
平成20年度	28	▲ 437	465	医師不足による医業収益の減	21
平成21年度	▲ 132	▲ 557	425	医師不足による医業収益の減	21
平成22年度	▲ 375	▲ 279			
平成23年度	▲ 507	▲ 975	468	医師不足による医業収益の減	21
合計			1,604		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

医師不足による医業収益の減

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

医師の確保について派遣元である高知大学に引き続き要請を行うとともに、安芸病院と芸陽病院を統合し、新たに整備する新病院において、病院GP(総合内科専門医などの資格をもって、地域医療に従事する医師)を養成する取り組み等により、医師の確保と診療体制の充実を図ることで経営改善に努めることとしている。

(v)改善方針の進捗状況

「高知県立病院改革プラン」をより具体化したアクションプランを平成22年3月に策定し、その着実な実行に努めている。